

G OVERNOR'S MONTHLY LETTER

国際ロータリー第2830地区 2025-26 ガバナー月信

No.7 **1**
JANUARY



インターアクトの翼in台北(台湾) 2025年12月24日(水)~28日(日)

contents

1. ガバナーメッセージ
8. ロータリー特別月間
10. 委員会活動
17. ガバナーエレクト壮行会開催報告
18. 各クラブの動き
20. 会員動向
22. 会員数の増減と出席率
23. 地区行事予定
25. ロータリー活動写真募集
25. 編集後記

よいことのために
手を取りあおう

ロータリーの
不易流行

国際ロータリー第2830地区事務所
〒030-0812 青森市堤町1丁目1-23 ホテル青森内
TEL.017-732-2830 / FAX.017-732-2831
E-MAIL rid2830@outlook.jp

ガバナーメッセージ

ガバナー 米谷 恵司

国際ロータリー第2830地区内の会員の皆様方新年明けましておめでとうございます。

2026年の新年を迎えいよいよ私の年度も折り返しになりました。年度前半は無我夢中で行事をこなし何とか終えたという感じです。

本年も私たちは、国際ロータリー「UNITE FOR GOOD」・「よいことのために手を取りあおう」のメッセージを合言葉に、地域社会と世界の平和に貢献する活動を一層推進してまいります。会員一人ひとりの経験や情熱が集まることで、ロータリーはより力強く、より大きなインパクトを生み出すことができます。変化の時代だからこそ、互いに学び合い、支え合い、前向きな行動を積み重ねることが大切です。まさに「不易流行」の地区スローガンを実践するべく本年も皆さまと共に、より良い地区づくりに取り組むことを楽しみにしております。

皆さまのご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。どうぞ今年もよろしくお願いいたします。

さて、昨年12月には青森県東方沖で震度6強に地震に見舞われた我が地区ですが、現在被害状況を取りまとめている最中です。わかり次第ガバナー月信にも掲載させていただきます。

「私たちロータリアンは、東日本大震災のことをけして忘れません」2025年「今年の漢字」は「熊」に決まりました。毎日の新聞には必ずと言って良いほど熊の目撃情報や怪我や亡くなられた人の記事が見られました。この年も忘れられないものになってしまいました。東日本大震災も来年の3月には震災後15年となります。「天災はわすれた頃にやってくる」という諺がありますが、近年は忘れないうちに頻繁にやってくる今日このごろです。2011年11月に始まった「ロータリー希望の風奨学金」も15年目にはいりました。震災で親を亡くした0歳児であった子供も15歳、来年は高校生になる子もいるでしょう。その奨学金について説明させていただきます。

「ロータリー希望の風奨学金」は、日本のロータリークラブ(国際ロータリーの地区・クラブ)によって運営されている給付型奨学金制度で、特に東日本大震災の影響を受けた子どもたちの支援を目的に設立されたものです。

概要

• 設立の背景:

2011年3月11日の東日本大震災で両親または片親を失った子どもたちが大学・短期大学・専門学校への進学をあきらめないよう支えるために創設されました。震災支援として集まった寄付の一部を原資として奨学金制度がスタートしました。

• 対象:

東日本大震災で保護者を亡くした災害遺児のうち、**大学生・短大生・専門学校生**。

• 給付内容:

給付型(返済不要)の奨学金で、支給額は**月額約5万円**程度とされています(地区や年度により変動する可能性あり)。

• 期間:

震災発生時に生まれた子どもたちが大学卒業するまで、長期にわたって支援を続ける計画で運営されています。

• 運営主体:

奨学金制度は「ロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会」など、複数の地区・クラブが協働して運営しています。

✦ 応募・支援について

- 応募方法や申し込み書類については、制度の公式サイトから申請書をダウンロードするか、各地区ロータリークラブへ問い合わせが必要です。
- 支援者として寄付で参加することも可能で、寄付者名簿に名前を掲載する仕組みもあります(事務局への連絡が必要)。

さて今年は午年です。今回は十二支について寄稿させていただきます。

十二支(じゅうにし／12子〔し〕)の由来は、主に **古代中国の天文学・暦法と民間伝承** が組み合わさってできたものです。ポイントを分かりやすくまとめます。

■ 由来の2つの流れ

① 天文学・暦法から生まれた(正式な由来)

- 古代中国では、時間・方位・季節を表すために **十二支** が使われていました。
- 本来は動物ではなく、子・丑・寅・卯・辰・巳・午・未・申・酉・戌・亥という「記号」のようなものでした。
- これを **十干(甲乙丙…)** と組み合わせて「**干支(えと)**」として暦を作ったのが始まりです。

① 動物が当てられた（民間伝承の由来）

十二支に「動物」が付いたのは後世の話で、庶民に覚えてもらいやすいように 動物を割り当てたと言われています。

つまり最初から動物があったわけではなく、記号 → 覚えやすくするために動物を当てたという流れです。

■ よく知られる“動物レースの話”（民間伝承）

覚えやすくするために広まった有名な物語があります。

- 1.神様が動物に「元旦に挨拶に来た順に12番まで干支にする」と言う
- 2.ネズミと猫は当日を忘れやすいので、牛に乗せてもらう
- 3.ゴール直前でネズミだけが牛から飛び降りて1位に
- 4.猫はネズミに嘘を教えられて遅れ、干支に入れなかった

この“十二支の順位の理由”の昔話が日本・中国・アジアで広がっています。

■ 各動物が選ばれた理由（意味づけ）

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| • 子(ねずみ):繁殖力 → 豊穰・繁栄の象徴 | • 午(うま):行動力 |
| • 丑(うし):勤勉・誠実 | • 未(ひつじ):群れ → 安定・調和 |
| • 寅(とら):勇気・力の象徴 | • 申(さる):賢さ |
| • 卯(うさぎ):跳躍 → 成長 | • 酉(とり):時を告げる → 秩序 |
| • 辰(龍):権威(架空の動物) | • 戌(いぬ):忠誠 |
| • 巳(へび):知恵・脱皮 → 再生 | • 亥(いのしし):勇気・無病息災 |

■ まとめ

- 十二支は 古代中国の暦の記号 が起源
- 動物は 覚えやすくするための後付け
- “ネズミが牛の背中から1位を取った”という昔話は 庶民の伝承

更に今年の馬年にちなみ丙午(ひのえうま)について説明いたします。十二支(子・丑・寅…)と十干(甲・乙・丙…)を組み合わせた 六十干支(ろくじっかんし) のひとつで、60年に一度めぐってくる年の名称です。

🔥 丙午の意味

- 「丙」=陽の火
- 「午」=陽の火(十二支の午=うま)

つまり 火×火の最も強い組み合わせ とされ、古くから「火の気が強い年」と言われています。

🐎 丙午の迷信

特に日本では、丙午の年に生まれた女性は**気性が激しく夫を焼き殺す**という迷信が江戸時代から広く信じられ、丙午の年は出生数が大幅に減りました。

これは完全に 迷信 で、科学的根拠は一切ありません。しかし社会的影響は大きく、直近の丙午(1966年)では実際に出生数が約25万人も減少しています。

📅 次の丙午

- 前回: 1966年(昭和41年)
- 次回: 2026年(令和8年)

60年周期なので、この次は **2086年** です。

つまり 火×火の最も強い組み合わせ とされ、古くから「火の気が強い年」と言われています。

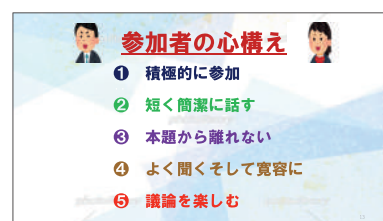
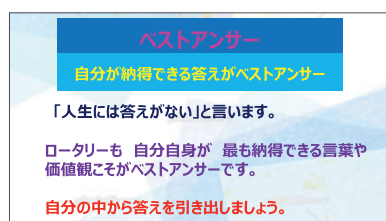
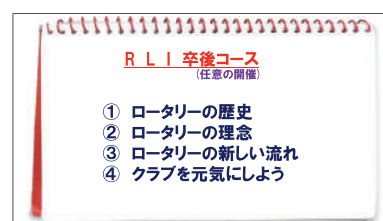
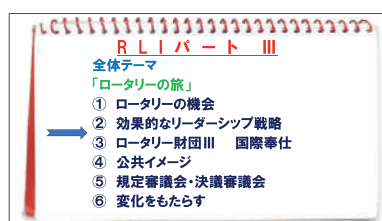
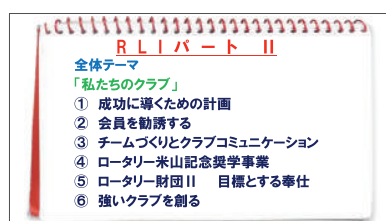
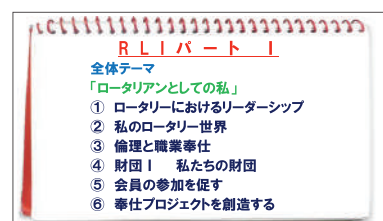
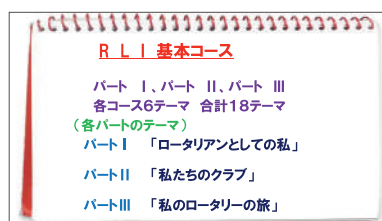
11月後半から12月も地区行事がめじろうでした。11月29日～30日は二日間にわたり青森市「はまなす会館」にて今年度第1回目のRLI(ロータリー・リーダーシップ研究会)が開催されました。第1回目としたのは今年度は2回開催予定だからです。第2回目は5月16日～17日の日程で八戸で開催予定です。私は地区のRLI委員長を5年努めた為思い入れも強く、RLIのすばらしさを実感しているひとりで。ここでRLIについて少し解説させていただきます。1992年に始まり現在全世界に広まりつつあるRLIはまさに草の根の活動であり、ロータリアンの知識を啓発し、ひとり一人のロータリアンのモチベーションを高め、リーダーシップを涵養するための全世界の地区連合組織となっています。RLIはロータリーの組織や活動に関して正しく深い知識を持ち、高い指導能力のあるロータリアンを支援するための活動をしており、日本のロータリー米山記念奨学会と同じ様にRIが承認した他地区合同プログラムです。このようにRLI活動は私たち日本のロータリアンにとって非常に重要なことであり、RLI研修に参加することで、ロータリアンとしての指導力が高められ、クラブや地区の更なる発展が期待されます。

次にRI2830地区とRLIのかかわりについてご説明させていただきます。

RLIは1992年アメリカ・ニュージャージー州RI第7510地区において、元RI理事のデビット・リンネ

ネット氏の発案で始められた研修であります。日本では2008年6月元RI理事南国義一日本支部委員長のもとでスタートしております。2011年7月元RI理事黒田正弘氏(当地区パスト・ガバナー・八戸南ロータリークラブ)に日本支部長委員長が引き継がれ、その後当地区において当時RI2830ガバナーであった山崎PGがそのノウハウを受け継ぎ地区としてRLI委員会が誕生し、源新PG、米谷、そして現在三浦真介委員長を受け継がれております。現在、世界で400以上の地区が日本においては34地区中30地区が実施して88%以上の地区が参加しております。地区委員会活動はRLI開催のみならず、成功を左右する重要な役割のファシリテーターの育成、レベルアップに力を注いでおります。現在ファシリテーターは30名程登録しているにも関わらず、参加状況が芳しくないのが現状です。私が昨年2月参加した国際協議会においてもRLI方式で研修が行われました。

今回のRLIで山崎PGが開会式のオリエンテーションで使用したパワーポイントをご紹介します。



また、12月24日(水)～28日(日)までインターアクトの翼に参加して参りました。場所は台湾の台北でした。今年度の国際大会も台北という事なので下見も兼ねることが出来幸いだと感じました。今回の参加者はロータリアン9名、引率教員2名、生徒11名の計22名でした。詳細は2月号のガバナー月信に掲載させていただきますが春節についてだけ説明させていただきます。

** 春節（しゅんせつ） ** とは・・・？

中国の旧暦(太陰太陽暦)に基づく新年のことで、日本でいう「お正月」にあたる、最も重要な祝祭日です。

基本ポイント

- ・ 正式名称：旧正月・農曆新年
- ・ 時期：毎年 1 月下旬～2 月中旬（新月の日）
- ・ 期間：前後を含め約 15 日間（元宵節まで）

主な行事・風習

- ・ 家族が集まり年越しの食事（年夜飯）
- ・ 爆竹・花火で邪気払い
- ・ 赤い装飾（春聯・紅包）で福を招く
- ・ 先祖供養、初詣に似た参拝

春節を祝う地域

- ・ 中国本土
- ・ 台湾
- ・ 香港・マカオ
- ・ シンガポール、マレーシアなどの中華圏
- ・ 世界各地の華僑社会

なぜ毎年日付が変わる？

旧暦は月の満ち欠けを基準にしているため、太陽暦(1月1日)とは一致しません。

続いて台湾ことについて・・・

① 台湾の春節

台湾でも春節は一年で最も大切な祝日です。

- ・ 期間：通常 4～7 日間が公的休暇
- ・ 大晦日（除夕）：家族全員で「年夜飯（団らんの食事）」
- ・ 紅包（ホンバオ）：年長者が子や若者にお年玉を渡す

- ・ 初一～初三：親族・知人への新年挨拶
- ・ 宗教行事：寺院参拝で一年の平安を祈願

※ 台湾では比較的「家族・先祖」を重んじる色合いが強いのが特徴です。

② 春節と日本の正月の違い

項目	春節	日本の正月
暦	旧暦（太陰太陽暦）	太陽暦
日付	毎年変動	1月1日固定
期間	約15日間	三が日中心
色彩	赤（吉・福）	白・金・松竹梅
意味合い	家族・祖先・繁栄	年神様・新年の始まり

1月は「職業奉仕月間(Vocational Service Month)」です。

2004年11月の理事会決定59号で決定され、10月指定されましたが、2014年10月理事会で大幅な特別月間の変更がありました。それに伴って1月に移行された職業奉仕協調する月間です。職業奉仕とはあらゆる職業に携わる中で、奉仕の理念の実践をロータリーが培い、支援する方法です。「ロータリーの目的」の第2項は職業奉仕が基本となるもので特に以下のことを推奨し育成します。

- 1.職業奉仕に関する声明、ロータリーの行動規範、職業奉仕に関する重要なメッセージの啓発
- 2.ロータリーの親睦活動への関与を推進する
- 3.職業奉仕活動への関与を推進する
- 4.未充足の職業分類を入会させるために会員増強活動を推進する
(ロータリー章典8.030.1.職業奉仕の基本原則)

最後に訃報です。同期現ガバナーの坂口 孝 殿(RI2570 地区・川越RC)が11月28日にご逝去されました。(享年71歳)また、ガバナーエレクト藤木章吉 殿(RI2820地区・しもだて紫水RC)が11月25日ご逝去されました。(享年77歳)なんと昨年からの不幸、不連続です。ガバナー・ガバナーエレクト職が相当激務なのだと実感せざるを得ません。益々自己管理を怠らずあと半年ガバナー職を全うしたいと思います。



職業奉仕月間によせて

社会奉仕・職業奉仕委員長 **岩岡 隆雄**
(八戸東RC)

1月は職業奉仕月間です。

私たち社会奉仕・職業奉仕委員会は地区の課題である会員増強に向けた事業の「強」の部分、ロータリーの企業が元気な経営をする事を目指した活動を計画実行して参りました。

今年で11回を迎える「じよっぱり経済学」はロータリアンの経営を青森大学に寄付講座として続けております。



この寄付講座で講師を務めるロータリアンの皆さんも自社の仕事の棚卸として自社を見つめ直し、新たな発見にも繋がる機会になっていると感じております。

90分の講義は例会卓話の3倍の時間があるので丁寧な説明により学生に向けた優しい解説が人気となっているようです。

この寄付講座は学生にいろいろな事業を営んでいる経営者の話を直接聴く機会であり、その先には魅力ある会社のリクルートに繋がる事も期待しております。

そして南グループ内にも2026年9月より寄付講座を八戸学院大学において開催します。ロータリアンの皆さんに講師を是非とも一度は経験し自社の魅力を発信していただきたいと思います。

また、国際ロータリー第2830地区・職業奉仕フォーラムの開催を 2025年9月13日土曜日に、ホテルサンルート五所川原において、五所川原まちづくり(株)代表取締役社長 山崎淳一氏(地区PG)に講師をお願いして「街づくりと人づくり」と題して講話を頂きました。

委員会の目的はロータリーの会員企業が元気な経営をする事を目指していくために、今回は特別なテーマをもってお話頂きました。

講話の後、ワークショップで経営理念の必要性とその実践についてグループ毎に話し合いを行い、元気な会社の原点を共有する話し合いが持てました。

経営は経営者の思想を成文化し働く社員とそのお客様にとってよりよい関係性を築き輝く理想の社員像を描くために必要なものであると思っています。

経営者の器以上に会社は大きくならないとも言います。ロータリーは親睦が大切ですが、親睦の中から切磋琢磨出来る経営者の例会も時には必要ではないでしょうか。

そして経済は目まぐるしく変化しております。10年先にどんな会社になりたいか？

成りたい姿を社員の皆さんと一緒に話し合い、向かう方向を共有する事でやるべき仕事明確になって

行きます。

あとは、引き算で5年後の到達点、2年後の到達点を明確にする事で、未来予想図を社員と共に構築してみませんか。





第1回ロータリーリーダーシップ研究会(RLI)を終えて

RLI委員会副委員長 欠畑 茂治

(十和田東RC)

個人の魅力が組織を超える。

そんな個人を創り出す魅力ある組織を目指して。

2025年11月29日～30日青森市はまなす会館において開催した、第1回ロータリーリーダーシップ研究会(RLI)は無事終了した。米谷ガバナーを始め参加者は総勢35名(ファシリテーター含む)、少数精鋭のメンバーだった。今回は10のセッション、パートI・パートII・パートIIIの中からパートIIIを中心としたカリキュラムを三浦RLI委員長は、無謀にも大海に飛び込むが如く組んだ。よって、参加者にとっても、我々設営サイドの委員会メンバーにとっても、BIG CHALLENGEだった。

RLIとは

ロータリーリーダーシップ研究会(RLI)は、世界各地の地区に組織された会員地区の他地区合同、草の根レベルの指導力育成プログラムです。

このプログラムは国際ロータリーによって推奨されています。ロータリーリーダーシップ研究会(RLI)は3回の理事会と規定審議会によって強く推奨されました。

RLIは、最近ロータリー・クラブに入会した会員を含む、潜在的なクラブ役員および他のクラブ会員を対象に、一連の質の高い指導力育成コースを実施しています。コースは、世界中の指導力とロータリーの知識を重視しています。すべてのコースセッションは完全にインタラクティブです。81のRLI地域は、指導力育成が会員の熱意を生み出し、ロータリーへの参加を促進することによって会員維持にプラスの影響を与えると信じています。

ーロータリーリーダーシップ研究会日本支部HPよりー

RLIの目的

RLIの目的は、ファシリテーターから与えられたテーマに関して、参加者同士で議論を交わす事で、ロータリーに関して色々な角度から考える機会を得て、参加者個人個人が新たな気づきを得る場です。そこには、色々なクラブが持つ多様性を認め自クラブの状況を客観的に見る事でクラブのさらなる可能性を見出させていただきます。

最終的には、クラブの将来のリーダーを育てる目的がありますが、新会員にも他クラブの方と意見交換する事で広い視野を持った会員に育てることが出来ます。

このような刺激が入会歴の浅い会員の大会防止に効果があると考えられます。

ーロータリーリーダーシップ研究日本支部HPよりー

<https://rli-japan.org/>

参加者の声①「早くRLIに出会えればよかった。第2回八戸開催には、多くのメンバーを連れていきます。」

参加者の声②「知らないことだらけだったが、知らないということを知ることができた。」

参加者の声③「あなたが、ロータリーだ!他人事から自分事へ。寄付をすることの本質が分かった。」

2日間カリキュラム

11月29日(土)1000～1650・懇親会特別セッション1800～2000

オリエンテーション「RLIについて」山崎淳一RLI日本支部地区支援チームサブリーダー

進行説明 源新和彦RLI地区代表ファシリテーター

セッション①「財団I 私たちの財団」

セッション②「奉仕プロジェクトを創造する」

セッション③「ロータリー米山記念奨学事業」

セッション④ロータリー財団II 目標とする奉仕」

セッション⑤「ロータリーの機会」

セッション⑥「効果的なリーダーシップ戦略」

懇親会にてのグループセッション「今後のRLIの設営の在り方について」

11月30日(日)1000～1455

セッション⑦「ロータリー財団III 国際奉仕」

セッション⑧「公共イメージ」

特別講義「規定審議会について」山崎淳一RLI日本支部地区支援チームサブリーダー(PG)

セッション⑨「規定審議会・決議審議会」

セッション⑩「変化をもたらす」

ハードではあったが充実した2日間。参加したすべてのメンバーに感謝します。2日間での学びと気づき、何よりも出逢いに感謝します。

米谷年度での第2回リーダーシップ研究会(RLI)は、2026年5月16日(土)～17日(日)八戸の地での開催となります。あなたも、まだ見ぬ自分との出逢いに旅してみませんか？

PS 日本におけるRLIスタートにおいて、我が地区の黒田正宏元RI理事(PG/八戸南RC)、関場慶博PG(弘前アップルRC)が深くかかわっていたということをお忘れなく。



委員会活動

R L Iに参加して

接待 伯子

(八戸南さくらエイトロータリー衛星クラブ)

創立二年目の衛星クラブの幹事として、RLIに初参加しました。今回、基本を学ぶ前段階の研修を飛ばし、思いがけずパートⅢからの参加となり、ロータリーの基本知識が十分でない中での受講は正直なところ内容の濃さに圧倒され、頭がいっぱいになる場面も多くありました。しかし、その一方で理解しきれないからこそ、ロータリーの考え方や活動の奥深さを強く感じる事が出来たと思います。

グループに分かれ、ファシリテーターのもと、財団、リーダーシップ、奉仕、公共イメージ、変化をもたらすこと等、様々なテーマのディスカッションを重ねる中で、ロータリーは、単なる奉仕団体ではなく、人と人との対話を通じて社会に持続的な影響を与えることの出来る組織であることを実感しました。

財団の話では、寄付がどの様に活用され、世界や地域の課題解決に繋がっているのかを学ぶことが出来ました。

また、リーダーシップについては、立場や経験の差に関係なく、相手の声に耳を傾け対話を通して方向性を見出し、互いを尊重し、学び合うことがロータリーらしい在り方であると気づき、来年度はその様な姿勢で議長の役割を果たしていこうという、目標を見つけることが出来ました。そして、自分たちの活動の姿そのものがロータリーの公共イメージとなることを常に頭に置きながら行動しなくてはならないと感じました。

今回の研修を通じ、「分からないことを、もっと知りたい」という前向きな気持ちが芽生え、次のパートI、IIの研修参加をメンバーにも呼びかけ、ロータリーの基本や魅力を共有したいと考えています。

多くの学びの中で、自分なりに目指したい方向性が見え、そのことが活動への意欲に繋がり、今回得た気づきを大切にしながら、自分なりの役割を果たしていきたいと思っています。



RLIを受講して

山田 朋子

(八戸南さくらエイトロータリー衛星クラブ)

RLIに初めて参加しました。

昨年参加した菊地議長が「とても勉強になるよ!」とおっしゃるので。

何が勉強になるのか、そもそもRLIとは?という状態でした。

受講中「ここは難しい」という言葉が何度も聞かれましたが、やはり難しかった。

でもとても刺激になり、感じたこともたくさんあります。

我々のクラブは、これまで寄付や奉仕といった対外的な活動を十分に行えておりません。まず、近々の例会において寄付金箱を設置し、会員の皆に呼びかけるところから始めます。小さな一歩ではありますが、まず動かななくては。行動を起こすこと自体に大きな意味があると信じて。また、二日間で学んだ内容を自分の中で留めるのではなく、クラブへ持ち帰り共有することで、学びを実践へとつなげていきたいです。5月のRLIには、是非さくらエイトのメンバー全員で参加し、その際には、どんなに小さなことでも「実際に取り組んだこと」を一つ報告できるようにいたします。

各クラブの参加者の方々が自らのクラブの活動を誇らしげに発表されるのを聞き、発足したばかりで模索中の我々のこれからの在り方も考えることができました。

私が個人的に感じたことは、例会への参加が難しい会員に対しては、オンラインでの参加を積極的に呼びかけていってはどうかということです。我々のクラブは例会内容も出席日数も比較的自由的な雰囲気でのびのび活動しておりますが、その一方で、オンラインでも例会に出席し、さまざまな情報や考えを共有することでこそ、ロータリーへの理解が深まり、自分のクラブへの愛着が育まれるのではないかと思います。この自由さと出席の意義との間にはジレンマがありますが、だからこそ次期議長と協力し、「楽しい」「参加したい」と思ってもらえる雰囲気づくりを意識しながら、前向きに参加を促していきたいと考えています。

二日間で最も印象に残ったのは今年のポリオ列車のストーリーです。活動の背景にある物語が、人の心を動かし、強い印象として残ることを実感しました。今後は、我々のクラブの活動においても、ストーリー性を持ったイメージ戦略を工夫することで、より多くの共感を生み出し、自らも楽しめるのではないかと感じました。

今回受講した結果として、ロータリーがもっと楽しくなりました。

第2830地区の皆様、さくらエイトロータリー衛星クラブをお楽しみに!

委員会活動

第2回ロータリー財団セミナー兼 補助金管理セミナー報告

地区補助委員長 西尾 和樹

(八戸南RC)

2025年12月7日(日)、ホテル青森において「第2回ロータリー財団セミナー兼補助金管理セミナー」が開催され、地区内より多くの会員が参加しました。ガバナーの点鐘・挨拶、ガバナーエレクト挨拶に続き、財団委員長より財団活動の全体像が紹介され、地区の方針や取り組みが共有されました。

本セミナーでは、資金推進委員会、平和フェローシップ・奨学金・学友委員会、ポリオプラス委員会など各委員会から活動報告と次年度に向けた計画が発表され、地区の財団活動が多方面にわたり着実に進んでいることが示されました。

また、直前ガバナーによる表彰では、財団活動に積極的に取り組んだクラブや会員が紹介され、参加者全体でその功績を称えました。

地区補助金については、地区補助金委員長として私より、現在進行中の補助金プロジェクトの概要と、次年度に向けた申請手続きの流れを説明しました。補助金はクラブの奉仕活動を支援する重要な仕組みであり、事業計画、申請、実施、報告までを適切に行うことが求められます。そのため、各クラブが早めに準備を進め、必要書類や要件を確認しながら進めていただくことの重要性をお伝えしました。

また、補助金の運用においては、ロータリー財団が定める基本的なルールの遵守が不可欠であり、申請内容の妥当性や事業の透明性、適切な書類管理などについて理解を深めていただく機会ともなりました。特に、補助金がクラブの地域貢献活動を大きく後押しするものである一方で、計画段階から報告に至るまでの継続的な管理が必要であることを強調いたしました。今回のセミナーを通じて、地区内の財団活動への理解が一層深まり、補助金を活用した奉仕プロジェクトに取り組むための基礎が共有されました。

今後も地区として、財団活動の活性化とクラブの取り組みを支援し、地域に貢献する活動がさらに広がるよう努めてまいります。ご参加いただいた皆さまに心より感謝申し上げます。



「第2回ロータリー財団セミナー兼補助金管理セミナー」のプログラムにおいて、ロータリー財団へ2024-25年度の貢献(寄付)に対し、該当するクラブへ“認証バナー”ならびに“感謝状”が直前ガバナーから授与されました。

＜クラブに対する認証＞

クラブに対する認証は、次の通りです。

- ・ 1 人当たりの年次寄付額上位3 クラブ(認証バナー)

地区内で、一年度中に一人当たりの年次基金への平均寄付額が上位3 位に入ったクラブに贈られます。ただし、クラブは一人当たりの年次基金への平均寄付額が最低50 ドルに達していなければなりません。

2024-25年度 認証バナー授与クラブ

1位 六ヶ所RC 2位 八戸北RC 3位 青森モーニングRC
- ・ 100% ロータリー財団寄付クラブ(認証バナー)

一年度中に正会員全員が、寄付分類に関わらず少なくとも25ドルの寄付をして、一人当たりの平均寄付額が100ドルに達しているクラブに贈られます。

2024-25年度 認証バナー授与クラブ 6RC

・六ヶ所RC ・八戸北RC ・野辺地RC ・三戸RC ・十和田東RC・十和田八甲RC
- ・ 「Every Rotarian Every Year」クラブ(認証バナー)

一年度中に正会員全員 が、年次基金へ少なくとも25ドルの寄付をして、一人当たりの年次基金平均寄付額が100ドルに達しているクラブに贈られます。

2024-25年度 認証バナー授与クラブ 4RC

・六ヶ所RC ・八戸北RC ・三戸RC ・十和田東RC
- ・ End Polio Now 感謝状

ポリオプラスへ1,500 ドル以上を寄付したクラブに贈られる感謝状です。

・2024-25年度 感謝状授与クラブ 3RC

・青森RC ・五所川原RC ・十和田八甲RC

ガバナーエレクト国際協議会出発壮行会開催報告

ガバナーエレクト壮行会実行委員長 須藤 一幸

(青森モーニングRC)

2025-26年度国際ロータリー第2830地区ガバナーエレクトである成田俊介氏の「国際協議会壮行会」が、12月7日にホテル青森にて盛大に開催されました。本会は、地区内クラブの会長エレクトと次年度幹事、パストガバナー、地区役員等が一堂に会し、成田ガバナーエレクトの米国フロリダ州オーランドで行われる国際協議会への出席の門出を祝うとともに、その熱意と決意を共有する貴重な機会となりました。

開会とともに米谷ガバナーの先導のもと、成田ガバナーエレクトが自身で選曲しRolling Stonesの「Start me up」で入場。ノリノリの楽曲に会場は一気に盛り上がり、成田ガバナーエレクトからは、ロータリーの理念に基づき、地区の発展と奉仕活動の充実に向けた力強い決意が表明され、参加者はその言葉に深く共感するとともに次年度に向けた意識を新たにすることができました。

また、今回のアトラクションでは、いっとく氏によるピアノ弾き語りのステージを実施し、音楽を通じて会場が和やかな雰囲気包まれる中、各クラブ間の親睦も深まり、次年度の地区運営に向けた強固なネットワークを再確認することができました。

最後に、爆風スランプの「Runner」の楽曲で会場を後にする成田ガバナーエレクトに出席者全員より、国際協議会での研鑽を祈念して盛大な激励のエールが送られ盛会のうちに幕を閉じました。

本会の開催にあたり、ご尽力いただいた関係者の皆様に実行委員会一同、心より深く感謝申し上げます。



各クラブの動き

むつ八戸いちいロータリー衛星クラブ 発足報告および議長あいさつ

議長 佐藤 泰治

本日は、むつ八戸いちいロータリー衛星クラブの設立発足に際し、米谷ガバナーを初め、歴代のパス
トガバナーの皆様、また関係各位の皆さまにお集まりいただき、心より感謝申し上げます。私たちのクラ
ブは、地域をより良くしたいという思いを共有する仲間が集い、新たな奉仕の場をつくるべく立ち上がり
ました。設立までの道のりは、決して平坦なものではありませんでした。準備段階での調整の難航や、思わ
ぬ課題への対応など、いくつかの困難を経験いたしましたが、その一つひとつを仲間と力を合わせて乗り
越え、こうして無事に発足の日を迎えることができたことは、私自身大きな喜びであり、また深い感謝の
念に堪えません。ご協力いただいた皆さまに、改めて心より御礼申し上げます。

さらに本日は、記念すべき第一回例会を開催し、会員一人一人の自己紹介とご来賓の皆様から温かいご
祝辞を頂き、無事に終えることができました。衛星クラブとしての活動に対して、進行や運営には不慣れな
部分も多々ございました。しかし、会員の皆さまが積極的に意見を出し合い、互いにサポートしながら取り
組んでくださったおかげで、円滑に例会を進めることができました。これからも、私たちのクラブらしい温
かさと機動力を活かしながら、地域に根ざした活動を発展させていきたいと考えております。

私が今後の運営において特に大切にしたいと考えているのは、「仲間への尊重と思いやり」です。ロータ
リーに集う仲間は、年齢、職業、経験もさまざまで、それぞれが異なる価値観と強みを持っています。だか
らこそ、互いを理解し合い、違いを受け入れ、尊重し合う姿勢が欠かせません。意見が異なることがあつて
も、相手を否定するのではなく、耳を傾け、より良い方向を共に探る。そうした関係性こそ、クラブを健全
に成長させる礎になると信じています。そして、仲間に向けるその思いやりの心は、やがて地域社会や世
界に向けた奉仕の心へと広がっていくはずで

そして何より、私たちの活動の根底にあるべきものは、ロータリーが掲げる「奉仕の心」です。奉仕とは、
誰かのために何ができるかを常に考え、自ら行動する姿勢のことです。決して大げさなことではなく、時代
見据え一歩踏み出す勇氣、地域の未来のために小さな行動を積み重ねる誠実さ、それらが奉仕の本質だ
と考えています。私たちのクラブは、この「奉仕の心」を基底に据え、地域で求められていることを丁寧
に見つめ、無理なく、しかし確実に実行に移していくクラブでありたいと思います。

むつ八戸いちいロータリー衛星クラブは、まだ始まったばかりのクラブですが、だからこそ柔軟に挑戦

でき、自由な発想で活動を形づくる可能性に満ちています。仲間一人ひとりが自分らしく輝き、互いに支え合いながら、地域のために汗を流す場となるよう、そして私個人の想い ではありませんが、一日でも早く衛生クラブではなく本クラブとして活動していけるよう議長として尽力していく所存であります。どうか、皆さまには、今後とも変わらぬご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



会員動向

入会者



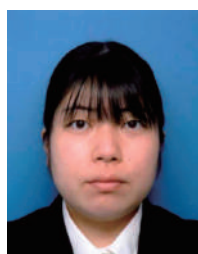
渥味 可奈子
(むつRC)
11月19日入会



本田 一修
(青森北東RC)
11月 1日入会



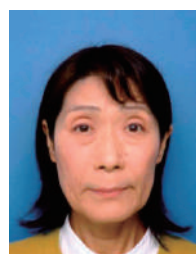
佐々木 哲也
(八戸南RC)
11月20日入会



松橋 希美
(八戸西RC)
11月 8日入会



坂本 幸子
(八戸西RC)
11月 8日入会



木村 優子
(八戸西RC)
11月 8日入会

退会者

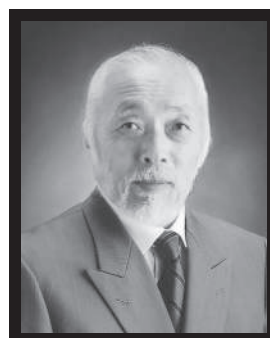
クラブ名	氏名	退会日
八戸中央	山村 益広	11月25日
八戸中央	小西 弘晃	11月25日

ご逝去会員

謹んでご冥福をお祈りいたします。



松橋 久幸
(金木RC)
11月29日ご逝去



米内 安芸
(八戸南RC)
11月25日ご逝去

ロータリー財団寄付



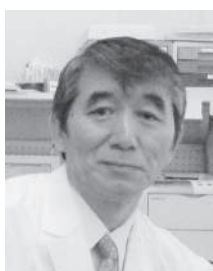
相田 喜一郎
(三沢東RC)
PHF+1



出戸 勝
(三沢東RC)
PHF

米山記念奨学会寄付

<米山功労者>



田名部 誠悦
(八戸中央RC)
第22回
メジャードナー

<米山功労クラブ>

八戸南ロータリークラブ 第21回

2025年11月会員数の増減及び出席率表

グループ	クラブ名	例会数	出席率 %	正会員数								My Rotary 登録率 %
				前月末 会員数	入会	退会	11月末 会員数	女性 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	
東第一グループ	むつ (うち、むつ大畑) (うち、むつ八戸いちい)	3	98.00	59 (8) (8)	0 (0) (0)	0 (0) (0)	59 (8) (8)	5 (1) (1)	50 (8) (0)	9 (0) (8)	0 (0) (0)	25.42
	野辺地	4	87.31	14	0	0	14	3	14	0	0	92.86
	七戸	3	80.95	15	0	0	15	2	13	2	0	13.33
	東北	3	66.67	16	0	0	16	2	16	0	0	87.50
	むつ中央	3	70.00	20	1	0	21	1	19	2	0	9.52
	六ヶ所	4	68.00	38	0	0	38	1	36	2	0	31.58
	小 計			162	1	0	163	14	148	15	0	
東第二グループ	三沢	3	45.00	21	0	0	21	1	21	0	0	42.86
	十和田	3	34.00	32	0	0	32	7	33	2	3	31.25
	十和田東	4	62.00	29	0	0	29	5	28	1	0	48.28
	おいらせ	1	50.00	6	0	0	6	0	6	0	0	50.00
	三沢東	3	68.30	36	0	0	36	4	36	1	1	30.56
	十和田八甲	3	54.53	83	0	0	83	1	80	4	1	39.76
	小 計			207	0	0	207	18	204	8	5	
西第一グループ	五所川原	4	48.70	59	0	0	59	7	60	0	1	69.49
	金木	4	72.00	11	0	0	11	1	12	0	1	16.67
	鰯ヶ沢	2	59.40	16	0	0	16	2	16	0	0	43.75
	鶴田	2	75.00	8	0	0	8	1	8	0	0	37.50
	五所川原中央	4	55.00	24	0	0	24	2	24	0	0	50.00
	つがる	2	65.20	33	0	0	33	0	34	0	1	33.33
	五所川原イヴニング	2	40.00	25	0	0	25	7	25	0	0	56.00
	小 計			176	0	0	176	20	179	0	3	
西第二グループ	弘前	2	93.80	48	0	0	48	5	50	0	2	47.92
	弘前東	1	87.50	8	0	0	8	5	9	0	1	37.50
	板柳	2	75.00	10	0	0	10	2	8	2	0	20.00
	黒石	3	59.00	23	0	0	23	3	23	0	0	47.83
	大鰐	3	65.00	10	0	0	10	0	9	1	0	30.00
	弘前西	2	100.00	30	1	0	31	5	29	2	0	56.67
	平賀・尾上	2	27.70	9	0	0	9	0	9	0	0	33.33
	弘前アップル	2	60.00	15	0	0	15	2	15	0	0	73.33
	小 計			153	1	0	154	22	152	5	3	
中グループ	青森	4	57.80	103	0	0	103	10	104	3	4	100.00
	青森北東	3	79.00	19	1	0	20	3	20	1	1	65.00
	青森中央	2	100.00	6	0	0	6	1	6	0	0	33.33
	青森モーニング	2	73.10	21	0	0	21	4	20	1	0	61.90
	小 計			149	1	0	150	18	150	5	5	
南グループ	八戸	3	88.10	68	0	0	68	0	63	6	1	38.24
	八戸東	3	100.00	51	0	0	51	1	46	5	0	54.90
	三戸	3	90.00	7	0	0	7	1	7	0	0	85.71
	五戸	3	77.00	13	0	0	13	1	12	1	0	53.85
	南部	3	77.00	9	0	0	9	0	9	0	0	44.44
	八戸北	3	58.00	39	0	0	39	7	38	1	0	53.85
	八戸南 (うち、八戸南さくらエイト)	4	68.60	40 (10)	1 (0)	1 (0)	40 (10)	12 (10)	39 (9)	3 (2)	2 (1)	90.24
	八戸中央	3	53.00	17	0	2	15	7	11	6	2	40.00
	八戸西	4	62.10	34	3	0	37	23	34	3	0	43.24
	小 計			278	4	3	279	52	259	25	5	
合 計 40RC				1,125	7	3	1,129	144	1,092	58	21	

※ () 内は衛星クラブの会員数です

期首会員数は2025年6月末会員数です
7月1日の会員数は1,107名です
11月末現在の入退会人数です

地区行事予定 2026年1月／職業奉仕月間

月 日	曜 日	内 容	会 場
1	(木)	元日	
2	(金)		
3	(土)		
4	(日)		
5	(月)		
6	(火)		
7	(水)		
8	(木)		
9	(金)		
10	(土)		
11	(日)	ガバナーエレクト国際協議会（～15日）	米国フロリダ州オーランド
12	(月)	成人の日	
13	(火)		
14	(水)		
15	(木)		
16	(金)		
17	(土)		
18	(日)	第4回クラブサポートミーティング	Zoom
19	(月)		
20	(火)		
21	(水)		
22	(木)		
23	(金)		
24	(土)	多地区合同ウィンターキャンプfor インバウンド（～26日）	蔵王ライザワールド
25	(日)	第10回全国地区ローターアクト委員長ならびに地区ローターアクト代表合同会議	ハイブリッド形式
26	(月)		
27	(火)		
28	(水)		
29	(木)		
30	(金)		
31	(土)	東第1グループロータリークラブ新会員セミナー	ウロコマル野坂屋 蔵

地区行事予定 2026年2月／平和構築と紛争予防月間

月 日	曜 日	内 容	会 場
1	(日)	第3回全国インターアクト委員長会議	ハイブリッド開催
2	(月)		
3	(火)		
4	(水)		
5	(木)		
6	(金)		
7	(土)		
8	(日)		
9	(月)		
10	(火)		
11	(水)	建国記念の日 諮問委員会（成田俊介GE国際協議会報告）	ホテル青森
12	(木)		
13	(金)		
14	(土)	八戸東RC創立65周年	八戸パークホテル
15	(日)		
16	(月)		
17	(火)		
18	(水)		
19	(木)		
20	(金)		
21	(土)	地区チームラーニングセミナー（DTLS）	弘前文化センター／ラグリー
22	(日)	映画「じょっぱりー看護の人花田ミキ」無料上映会	下北文化会館大ホール
23	(月)	天皇誕生日	
24	(火)		
25	(水)		
26	(木)		
27	(金)		
28	(土)	西第2グループIM	フォルトーナ（弘前市）

みなさんのロータリー活動をガバナー月信の表紙に!写真募集!!

みなさんのロータリー活動をガバナー月信の表紙に載せてみませんか?
2024-25年度ガバナー月信同様に、各クラブでのロータリー活動を撮影した
写真で毎号の表紙を飾りたいと思います。

掲載希望の写真は、地区事務所に掲載希望月の前月15日までに写真データと
写真の内容を簡潔にまとめたものをメールでお送りください。



編集後記

みなさま、2026年がスタートしました。

改めまして今年もガバナー月信をよろしくお願いします。

1月号も、各種の活動報告を掲載しています。

特にRLI(The Rotary Leadership Institute ロータリーリーダーシップ研究会)について米
谷ガバナーはRLI委員長をしていたこともあり多くの仲間の参加を推奨しています。

今回初めて参加した、八戸南さくらエイトロータリー衛星クラブの2名の方の感想にあ
るように、参加することで様々な気づき・学び・参加者との友情を得たとあります。

是非、デスカッションリーダーになって欲しいですね。

さて、新年早々景気の良いニュースが飛び込んできましたね!!

そうです、「大間の一番マグロ」に過去最高の5億
1030万で競り落とされました。ビックリ価格です。

また、正月といえば「箱根駅伝」。

青山学院の9度目の総合優勝は、優勝だけではなく様
々な記録更新が日本中に感動を与えたのではないでし
ょうか?

さあ今年も、元気に明るくロータリー活動をスタートし
ましょう!!



ガバナー月信 編集後記担当 **石川 佳共子**
(青森ロータリークラブ)